

寺尾天台自治会第四区だより

～区民の交流、地域の備え、将来への継続～

第3号

発行日：令和3年1月1日
四区会員数：525世帯
編集・構成：広報委員会



区民の皆様こんにちは、区長の中原です。4月に令和2年度がスタートし組長様をはじめ、区民皆様のお力添えをいただき区の行事等を行いたいと考えておりました。しかし、残念ではございますが「新型コロナウイルス感染予防対策」に伴い「春・秋美化キャンペーン」「夏祭り盆踊り大会」「四区敬老会」「自治会行事」等は全て中止となりました。また、3月から9月までの区民会館は、自粛要請により、組長会議も開催できず、大変ご不便をお掛けしました。

今年度を振り返り、大きな出来事は、区民会館の補修改修工事を行ったことです。二年前に区民対象に区民会館のフローリング化についてアンケートを取り、賛否両論の声もありましたが、四区利用者の高齢化は顕著で、畳に長時間座ることが困難な方が年々増加すると考えます。今後の快適な利用環境を見据え、区長判断として工事を行いました。建物の外壁は、体育委員皆様のご協力を得て塗装を行いました。老朽した建物は、錆の進行により手遅れになる前にこのタイミングがベストと考えております。工事終了後、組長様への内見を行い、利用サークル様から施設利用の快適さについて感謝の言葉も頂きました。

最後になりますが、再び新型コロナウイルス感染が拡大しております。区民の皆様におかれましては三密を避け、感染予防対策の徹底、2020年もよい年で終え、来年も健康で誰もが笑顔でなるよい年でありますようお願い申し上げます。

備

～ウィズコロナの時代であっても人とのつながりを大切に張りのある生活に備えを～

令和2年になり、新型コロナウイルス感染症の拡散に伴う緊急事態宣言が4月に発令されました。休校や公共施設が閉鎖されるなど国や自治体の外出自粛要請を受けて、社会生活が大きな影響を受けています。地域活動への制約を受けながらも、四区では今できることを模索しながら、地域社会の絆を更に深めていこうとする課題に向かって活動を続けてきました。9月になり、まだまだ制約を受けながらも活動が再開されてきました。

今後も引き続き感染対策として、日常生活を営む上での基本的な生活様式「3つの密（密閉・密集・密接）」の回避に心がけ、①身体的距離の確保（できるだけ2m）②マスクを着用③手洗い・手指の消毒（手洗いは30秒程かけて水と石けんで丁寧に洗う）などに留意し、家の中でも咳エチケットを心がけることや室内の換気を十分に行ったり、十分な睡眠などで自己の健康管理をしっかり行ったりする等で、感染しない、感染をさせないことを徹底したいものです。もう少しがんばりましょう。



知

～四区の地域活動を「知」ることにより助け合いの気持ちが生まれます～

長年地域に愛されてきた区民会館の修繕とリフォームを行いました。長年の経年劣化により区民会館の屋根修理や外壁のペンキ塗装、室内のフローリング工事を行いました。今後、会議など利用の際に椅子が使用できます。利用者からも足腰を気にせず、利用できますとの声をいただいております。



区民会館での感染予防対策

感染対策のため、会館の使用上の新しい取り組み・利用者名簿の作成（利用人数の制限）・健康観察カードへの記載（検温や健康状態）・マスクの着用と換気の徹底を行いました。

ルール違反です！

ゴミ集積所でのゴミの出し方やアルミ缶持ち去りの状況が続いていました。夜の見回り、啓蒙ポスター掲示、市役所や警察と連携し、防犯も兼ね、監視カメラの設置、警告を行う取り組みを行いました。

地域行事への協力

幼稚園での夕涼み会で使用するやぐらの組み立てやイベント行事の裏方として体育委員のメンバーや有志の皆さんの協力がありました。また、区民会館の裏庭の除草作業も行いました。

楽

～安全・防災の備えや地域交流を楽しみます～

新型コロナ感染症予防により、計画されていた行事の中止・自粛が求められました。

中止

- 5月10日 自治会第17回春季レクリエーション大会
- 5月24日 春の美化キャンペーン
- 7月下旬 夏祭り盆踊り大会
- 9月中旬 敬老会（記念品のみ配布）
- 10月18日 秋季レクリエーション大会
- 10月中旬 子ども神輿
- 11月1日 秋の美化キャンペーン

開催予定

- 1月10日（予定） どんと焼き



伝

～身近な情報をホームページで「伝」えます～

四区ホームページは試行も含め、約3年が経過し、ブログ更新は100回を超えました。また、多くのアクセスと訪問者をかぞえています。アクセスを分析するとお知らせブログ、ごみ関係、区長あいさつに関心があるようです。

2018年1月～2020年10月

- 累計ページ閲覧数 26,221ページ
- 累計訪問者 16,796人



編集後記

新しい生活様式はこれまでの価値観も変えようとしています。令和の時代は、地域のきずなと自治会の活用が益々重要となるのでしょうか。広報委員長 永田

